

「医療ソーシャルワーカーが行う地域活動を考える」開催案内

2017年9月12日 厚生労働省より「地域における住民主体の課題解決力強化・相談支援体制の在り方に関する検討会(地域力強化検討会)」の最終とりまとめ」が公表されました。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000176885.html>

- ・「ソーシャルワーカーは地域住民等への理解を促し、地域へ働きかけていく必要がある」
- ・「地域住民等の専門機関でない主体が担う場合には、ソーシャルワーカーによるサポートが受けられる体制を構築する必要がある」
- ・「ソーシャルワーカーなどの専門職によるアウトリーチなどにより、必要な時に必要な支援が届けられるような環境を整えることが重要である」 など、ソーシャルワーカーに関する記述も多くみられました。

そこで、医療ソーシャルワーカーのメゾ、マクロ活動を推進するセミナーを初開催します。

各市町村で在宅医療介護連携推進事業も開始され、その活動内で地域活動されている医療ソーシャルワーカーも多くなりました。医療ソーシャルワーカーが行う地域活動を考えるセミナーです。厚生労働省の方の講演と実践報告、シンポジウムを行います。ぜひご参加ください。

【プログラム】

時間	内容	講師
14:00	開会	
14:05～15:05	「在宅医療介護連携推進事業の取り組み」	厚生労働省 老健局 老人保健課 塩崎 敬之 氏
15:20～16:20	実践報告 「医療ソーシャルワーカーの地域活動」	新潟市在宅医療・介護連携ステーション南 坂詰 明広 氏 那覇市立病院 樋口 美智子 氏 名古屋市医師会 黒木 信之 氏
16:20～17:00	シンポジウム 「医療ソーシャルワーカーの地域活動」	座長 日本医療社会福祉協会 業務執行理事 岡村 紀宏

事前課題有

【開催日】2017年11月18日(土) 14:00～17:00(予定)

【会場】AP浜松町(東京都港区芝公園2-4-1)

【対象者】保健医療分野及び地域でソーシャルワーク実践を行っている医療ソーシャルワーカー、在宅医療介護連携推進事業に関わっている医療・介護従事者等

【募集人数】100名

【受講費】日本医療社会福祉協会 正会員・賛助会員(個人) 5,000円 賛助会員(団体)・非会員 10,000円

【申込方法】受講申込フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

http://www.jaswhs.or.jp/training/information_detail.php?@DB_ID@=516